



令和4年度 学 校 経 営 方 針

新潟県立西蒲高等特別支援学校
校 長 佐々木 裕一

- 1 生徒の教育的ニーズや進路希望の把握と自立を育む教育実践の充実
 - 生徒一人一人の実態，将来への希望を，丁寧な見取りと客観的指標により把握する。
 - 生徒自身が自己理解を進め，自己実現を図れるよう，個別の指導計画に基づいた教育実践を進める。
 - 生徒一人一人の自立へ向けた指導・支援の評価と生徒の変容の把握，つまり指導と評価の一体化による教育実践の充実を目指す。
- 2 社会参加する力を育む機会の設定と進路実現のための指導の充実
 - 社会人となるための基礎的な知識・技能を身に付けられるよう，個別の指導計画に基づいた教育実践を進める。
 - 自然や交通機関等社会資源を有効活用し，社会性を身に付けられるよう，指導内容を精査するとともに，諸能力との関連性を意図した指導の継続を図る。
 - 交流及び共同学習の機会を設定し，多様な人々との学びの場を確保する。
- 3 安全・安心を保障する学校づくり
 - 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症予防対策を徹底し，生徒の健康と安全を保てるようにする。
 - 生徒同士，生徒と教職員との温かい関係の基に，他を思いやる気持ちや道徳心を育み，いじめや問題行動の未然防止に努める。
 - 教職員が生徒の些細な変容に気付く目をもつとともに，気になる情報がすぐに共有され，いじめや問題行動にかかわる事案が起きた場合は，即時対応体制維持に努める。
- 4 保護者，地域，関係機関との連携，協働による教育活動の充実と安定
 - 家庭と学校とは，車の両輪，保護者と教職員が同じ方向を向いて生徒の成長を育むための，連携体制づくりと維持に努める。
 - 生徒の教育の充実と安定を図れるよう，各種関係機関との連携を推進する。
 - 学区をはじめとした地域との連携，かかわりの拡充を図っていく。
- 5 教職員の専門性の維持・向上とセンター的機能の発揮
 - 効率的，実効性のある校内研修を推進していく。
 - OJTを通して専門性の継承を図るとともに，今日的課題に向き合える専門性の発展を目指す。
 - 保護者，他校の教職員，地域からの相談を積極的に受け入れ，特別支援学校のセンターとしての力を発揮できるようにする。